

犬や猫だって歯は大事

勝山・荒土小 3年17人、獣医に学ぶ



川口さん(右)から動物の歯について学ぶ児童＝3日、勝山市荒土小

みんなて……
読もう

勝山市荒土小の3年生17人が3日、獣医師から動物の歯について学んだ。ペットとして身近な犬や猫

が歯茎の病気になるやういと知り、自分自身の歯の健康を守る大切さも感じた様子だった。同校は日本学校歯科医学会から「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進

事業」推進校に指定されており、その一環で市内の動物病院の獣医師、川口真理子さんを講師に迎えて授業を行った。

川口さんは「犬や猫は放っておくと1週間くらいで歯石ができる」と歯周病になりやすいことを説明。歯が抜けるケースもあるとし「ペットがいたら、きちんと歯磨きをして。皆さん自身も、今のうちから正しい磨き方を覚えてください」と呼び掛けた。

この後、デンタルフロスの使い方なども学んだ。犬を飼っているという多田結奏さん(8)は「犬用の歯磨き粉があることを知ったので使おうと思った。自分も歯磨きをしっかりとしたい」と話した。

(桂知之)